

## 第35回 刈谷市都市交通協議会 議事概要

- 日 時：**令和7年5月26日（月）10:00～12:00  
**■場 所：**刈谷市役所 7階大会議室  
**■議 題：**
  - 1 公共施設連絡バス「かりまる」の再編について
  - 2 「かりまる」有料化に伴う地域公共交通計画の改定等について
  - 3 デマンド交通「チョイソコかりや」実証実験について
  - 4 令和6年度決算及び令和7年度予算について



- 報告案件：**
  - 1 令和7年度協議会スケジュールについて

**■出席者：**

委員号数	所属（役職）	氏 名	出欠
第1号委員	中部大学 工学部 都市建設工学科 教授	磯部 友彦	○
第1号委員	大同大学 建築学部 建築学科都市空間インフラ専攻 准教授	樋口 恵一	○
第2号委員	トヨタ紡織(株) 総務部 総務室長	亀井 隆	欠席
第2号委員	トヨタ車体(株) 総務部 総務室長	宮地 哲也	○
第3号委員	名古屋鉄道(株) 地域連携部 交通サービス担当課長	高井 勇輔	代理 (上野由貴)
第4号委員	(社)愛知県トラック協会西三支部刈谷部会 部会長	出口 達也	欠席
第4号委員	愛知県タクシー協会 副会長	横山 宜幸	○
第4号委員	(公)愛知県バス協会 専務理事	小林 裕之	○
第4号委員	知多乗合株式会社 代表取締役社長	金森 隆浩	代理 (橋本大輔)
第4号委員	東伸運輸株式会社 代表取締役	片桐 徹	○
第4号委員	大興タクシー株式会社 代表取締役	潮田 憲	代理 (田頭晋吾)
第4号委員 兼第5号委員	名鉄バス(株) 運輸本部 首席 交通企画官	後藤 泰之	○
第6号委員	自治連合会 副会長	二宮 成人	○
第6号委員	女性の会連絡協議会 書記	中川 真弓	○
第6号委員	刈谷商工会議所 専務理事	岡田 行永	○
第6号委員	一般社団法人 刈谷青年会議所 理事長	中川 智揮	○
第6号委員	かりや消費者生活学校 運営委員長	作田 美乃利	○
第7号委員	中部運輸局 愛知運輸支局 首席運輸企画専門官	原田 光一郎	○
第8号委員	愛知県交通運輸産業労働組合協議会 幹事	川畑 竜八	○
第9号委員	刈谷警察署 交通課長	山口 航平	欠席
第10号委員	愛知県 知立建設事務所 企画調整監	志賀 雅樹	○
第10号委員	刈谷市建設部長	竹内 健人	欠席
第11号委員	愛知県 都市・交通局 交通対策課長	森田 勇人	代理 (藤原太陽)
第11号委員	愛知県 都市・交通局 都市基盤部 都市計画課長	青柳 克彦	代理 (岩越敦哉)

第12号委員	刈谷市都市政策部長	清水 雅之	○
オブザーバー	国土交通省中部地方整備局建政部都市整備課長	後藤 直紀	○(オンライン)
オブザーバー	刈谷市企画財政部長	岡部 直樹	欠席
オブザーバー	刈谷市産業環境部長	浅岡 剛司	○

(事務局)：都市政策部都市交通課 都築課長、深谷課長補佐、安田次世代モビリティ推進係長、岡田公共交通係長、五明主査、岡田主査、加藤主査、清水技師

■意見概要（発言順）：

議題1 公共施設連絡バス「かりまる」の再編について

	主な意見	回答
1	<p>・かりまるにおいて交通系 IC カードは利用できるか。名鉄バス所有の車両の料金箱は交通系 IC カードが利用可能で、manaca や toica 等の交通系 IC カードを利用されている方は定期券を含めて6～7割いる。支払い方法が少しでも多い方が利便性の向上に寄与すると思うが、資料に記載がないため刈谷市の考えを教えてください。</p> <p>【後藤委員】</p>	<p>・名鉄系以外の運行事業者の路線では交通系 IC カードが使えないため、使える路線と使えない路線が存在することになる。例えば刈谷駅周辺において様々な路線が入ってくる中で、バスによって交通系 IC カードが使えたり使えなかったりすると、混乱が生じると思われる。また、乗り継ぎ割引について、チケット QR の場合は自動で適用されるが、交通系 IC カードの場合は自動適用されないため、現金の場合と同じように乗り継ぎ券を受け取る運用になり、この点においても混乱が危惧される。今後、意見募集や本協議会の意見を踏まえ、運賃料金協議会にて最終的な結論を出す。現時点では交通系 IC カードは利用しない考えである。</p> <p>【事務局】</p>
2	<p>・運賃について、無料乗車券のタッチはアプリ上で行うものと認識しているが、スマートフォンを持たない方に対してはどのように対応するのか。</p> <p>【川畑委員】</p>	<p>・スマートフォンを持たない又は操作に不慣れな方が多いと思われる75歳以上の方は、QR を印字した紙の無料乗車券を配布予定である。また学生に関して、小学生は他自治体での実施例を参考に運転手の目視による確認で乗車可能とする。中学生は教育委員会を通じて、紙の無料乗車券を配布予定である。妊婦、未就学児の監護者に関しては、スマホを使える方が多いと思われるため、紙の無料乗車券ではなくアプリの活用を想定している。</p> <p>【事務局】</p>
3	<p>・路線について、東境線の洲原温水プール停留所一つし作業所停留所間に鋭角な交差点があり、カーブが困難である。つくし作業所停留所で折り返し、つくし作業所停留所一洲原公園北口停留所間の一部を戻る経路の方が運転手の負担が小さい</p>	<p>東境線の鋭角な交差点に関しては、つくし作業所の駐車場を借り、折り返したこともある。このルートに変更するには相手方との交渉が必要となる。交差点の改良を含め、引き続き最適な形を模索していく。</p>

	<p>め、こちらの経路を検討してほしい。</p> <p>同じく東境線の刈谷駅北口停留所—交通児童遊園停留所間について、現行では産業振興センター前を経由しているが、再編後の路線図では中山町2丁目交差点経由の経路となっている。再編後も産業振興センター前経由に変更可能か。</p> <p>【川畑委員】</p>	<p>東境線の刈谷駅北口停留所—交通児童遊園停留所間については運行事業者と協議中であり、10月の都市交通協議会にて最終決定する予定である。</p> <p>【事務局】</p> <p>刈谷駅北口停留所—交通児童遊園停留所間の運行経路について、逢妻線に関しても検討しており、安全の確保と運行時間の短縮による利便性の向上を両立すべく、上り線と下り線で別々の経路となるルートを模索している。</p> <p>【橋本委員】</p>
4	<p>富士松駅について、バス停が狭いと感じる。西境線と一ツ木線が同時刻に到着すると一般乗用車の送迎と相まって大変混雑する。乗り継ぎのためにダイヤを揃えているならば、ロータリーを改良してほしい。再編後の富士松駅のダイヤがどうなるか教えてほしい。</p> <p>【川畑委員】</p>	<p>・ダイヤに関して、作成直後のためロータリーの混雑を考慮した形にはなっていない。10月の都市交通協議会に向け、混雑が生じないようにダイヤ調整を行う。</p> <p>【事務局】</p>
5	<p>・路線の名称、料金の徴収方法等について、どのように周知する予定か。個人の意見として、路線の名称は今までの呼称を継承する方がわかりやすく、利便性が良いと思う。一ツ木線については、1路線が右回り、左回り、泉田の3系統に分かれているため、路線の名称をよりわかりやすくすべきであると思う。また、有料化と並行して、QR等の新システムでの運賃收受を開始するため、市民への密な情報提供や乗降方法の説明が重要であると思う。</p> <p>【樋口委員】</p>	<p>・一ツ木線は、ダイヤに右回り、左回り、泉田と併記するとともに、バス停看板等にこれらを分かりやすく記載することで混雑を抑制したい。また、支払方法やバスの乗降方法について、12月を目処に専用の受付窓口を都市交通課に設置し、周知を図る予定である。地区での乗り方教室の実施やキャッシュレスの使い方講座等も併せて開催したい。</p> <p>【事務局】</p>
6	<p>・公共施設連絡バス「かりまる」から「刈谷市コミュニティバス「かりまる」と呼称が変わる点に関して、バス路線設定時のコンセプトを踏まえて趣旨を教えてください。</p> <p>【磯部委員】</p>	<p>・有料化に伴い、公共施設をつなぐバスから、買い物、おでかけ等に使いやすい日常の生活を支えるバスへ変更する。市民だよりや広報誌、各地区での説明会等で周知を図っていく。</p> <p>【事務局】</p>
7	<p>・運賃の支払い方法に関して、知多バスはつい先日まで、交通系ICカードが使える路線と使えない路線が混在していた。利用者からは、わかりにくい、非常に不便だという声がある一方で、機器があるなら使</p>	<p>・事業者と共に運賃の收受方法や乗車方法の周知の仕方、刈谷駅周りの最適なルートを今後調整していく。</p> <p>【事務局】</p>

	<p>わせるべきという意見もあり、こちらの方が多くの声があった。よく検討し、市民のニーズに即したものとしてほしい。</p> <p>また、有料化に伴い、乗り口と降り口の位置の変更など乗車方法が変わると思うが、ダイヤの変更とバス路線の変更に併せて周知することでスムーズに移行できると思う。</p> <p>【橋本委員】</p>	
8	<p>・事務局からの説明内容について、承認いただけるか。</p> <p>【磯部会長】</p>	<p>・賛成【全委員】⇒承認</p>

## 議題2 「かりまる」有料化に伴う地域公共交通計画の改定等について

	主な意見	回答
1	<p>・資料5の23頁、主な経由地の欄について、バスのたどる順に書いてほしい。</p> <p>【中川真弓委員】</p>	<p>・他路線も併せて確認、修正する。</p> <p>【事務局】</p>
2	<p>・資料5の12頁、再編前と再編後の比較について、運転手不足が問題の社会情勢において、6路線84便から7路線140便へと増便すると運行事業者に大きな負担を強いることになる中で、どのようにして運行事業者と調整しているか確認したい。</p> <p>また、運転士の確保については、地域公共交通計画における記載の通り進めてほしい。</p> <p>【原田委員】</p>	<p>・まず資料5の12頁、計7路線で140便とあるが正しくは136便のため修正する。運行事業者とは年度末のプロポーザル後から話し合いを重ね、休憩時間等を確保した上で増便できるとの回答をもらっている。</p> <p>【事務局】</p>
3	<p>・資料5の10頁、「○ICカード、クレジットカード又は二次元コードの導入」とあるが、このICカードとは何を指しているのか。交通系ICカードを意味するならば、前述の説明と異なるのではないか。</p> <p>【後藤委員】</p>	<p>・○部分の記述は国土交通省の提示する項目名を記載しただけであり、刈谷市の方針を示したものではない。誤解が生じない表現方法を検討する。</p> <p>【事務局】</p>
4	<p>・資料5の34頁、第4章について、章の中に節が1つしかない。</p> <p>【樋口委員】</p>	<p>・修正する。</p> <p>【事務局】</p>
5	<p>・27頁から32頁について、旧路線の内容を</p>	<p>・旧路線の内容は必要な項目であり、本文中</p>

	ここに記載すべきか疑問である。新旧を並列表記すべきではないか。旧路線図は巻末に載せるという方法もあると思う。 【樋口委員】	に記載しているが、意見を参考に、記載方法について国交省と調整し、必要に応じて修正する。 【事務局】
6	・今後、国土交通省へ提出する過程で、内容に修正が入ることが考えられる。細かい修正については会長一任とさせていただきたい。それを踏まえ、事務局からの説明内容について、承認いただけるか。 【磯部会長】	・賛成【全委員】⇒承認

### 議題3 デマンド交通「チョイソコかりや」実証実験について

	主な意見	回答
1	・事務局からの説明内容のとおり事業を進めることについて、承認いただけるか。 【磯部会長】	・賛成【全委員】⇒承認

### 議題4 令和6年度決算及び令和7年度予算について

	主な意見	回答
1	・事務局からの説明内容について、承認いただけるか。 【磯部会長】	・賛成【全委員】⇒承認

### 報告案件1 令和7年度協議会スケジュールについて

	主な意見	回答
1	・なし	